

1日目 10月17日(木) A会場(1Fメインホール)

12:50-14:00

開会式 会員集会

14:00-14:40

学会顕彰記念講演

優秀論文賞

母親のメンタルヘルス不調および養育行動と長子の心理社会的適応の横断的関連
—肯定的／否定的養育行動を介する parallel multiple mediator model —

村山 恭朗 (金沢大学 人間社会研究域／子どものこころの発達研究センター)

研究奨励賞

一般集団の青年期における自閉スペクトラム症特性と抑うつに関連に対する学校ソーシャル・キャピタルの媒介効果

森 裕幸 (埼玉学園大学)

実践奨励賞

わが国における性犯罪加害者治療：SPIRiTSの開発と実践

安藤 久美子 (東京医科歯科大学／聖マリアンナ医科大学)

国際学会発表奨励賞

神経発達症とトラウマ

岡崎 康輔 (一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん)

15:00-16:00

教育講演 1

森田療法の現代の子どものメンタルヘルス課題への応用：森田正馬生誕 150 周年を迎えて

司会：山下 洋 (九州大学病院 子どものこころ診療部)

演者：高橋 秀俊 (高知大学医学部寄附講座 児童青年期精神医学)

16:10-17:40

特別講演 1

アーティスト石村嘉成のキセキ ～自閉症の我が子と歩んで～

司会：上野 修一 (愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座)

演者：石村 和徳 (株式会社ベターライフ)

演者：石村 嘉成 (アーティスト)

14:00-16:00

心理職に関する委員会セミナー

EBTとクリニカル・パルー実臨床にEBTをどう持ち込むか？

司会：金子 一史（名古屋大学 心の発達支援研究実践センター）

司会：小平 雅基（総合母子保健センター愛育クリニック）

CS1-1 Parent-Child Interaction Therapyの臨床実践から

伊東 史エ¹、加茂 登志子²

1. 医療法人財団青溪会 駒木野病院、2. 若松町こころとひふのクリニック

CS1-2 トラウマフォーカスト認知行動療法(TF-CBT)の導入と実践

ー岡山市における機関横断的なトラウマケアの取り組みから

福田 理尋（地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）

CS1-3 メンタライジングによる子どもと親への支援(MBT-C)

斎藤 佐智子（特定医療法人群馬会 群馬病院）

CS1-4 物質使用障害治療プログラム(SMARPP)

今村 扶美（国立精神・神経医療研究センター病院）

16:10-18:10

シンポジウム3

どうして私たちは、児童相談所のことがよく分からないのか？ー児童精神科医が知っておくべきことー

司会：大平 洋明（宮崎大学医学部附属病院 精神科）

司会：山下 浩（医療法人慶仁会 天神病院）

S3-1 児童相談所との連携の問題点

ー「やりとり」すらままならないのに、「連携」だって!?ー

大平 洋明（宮崎大学医学部附属病院 精神科）

S3-2 児相との良好な連携のために一児相職員になってはじめてわかったこと

木下 直俊（兵庫県中央こども家庭センター）

S3-3 児童相談所の現在とこれから ー連携のための基礎知識ー

吉川 徹（愛知県尾張福祉相談センター）

S3-4 いくつかの経験と振り返りから児童相談所との関係構築を考える

ー児相を知らない児童精神科医師の視点ー

木戸 瑞江（香川大学医学部精神神経医学講座）

指定討論：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座／岩手医科大学附属病院児童精神科）

14:00-16:00

シンポジウム1

役立つ！ 回避・制限性食物摂取症の治療の実際

司会：中土井 芳弘（国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター）

司会：宮脇 大（大阪市立総合医療センター 児童青年精神科）

S1-1 ARFID 総論～病態の基本概念と治療について～

細川 里瑛（愛媛大学医学部附属病院精神神経学講座）

S1-2 臨床行動分析からみた ARFID のアセスメントと治療 ～エクスポージャーを中心に～

木村 拓磨（東海学園大学）

S1-3 幼児期児童期における回避制限性食物摂取症への治療

～小児科他科との連携や小児リエゾンを中心に～

中土井 芳弘（国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター）

S1-4 回避・制限性食物摂取症の外来治療

鈴木 太（上林記念病院 こども発達センターあおむし／福井大学子どものこころの発達研究センター）

S1-5 ARFID の入院治療の実際

宮脇 大（大阪市立総合医療センター 児童青年精神科）

16:10-18:10

生涯教育に関する委員会セミナー

摂食障害を学ぶ

司会：三上 克央（東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学領域）

司会：太田 豊作（奈良県立医科大学 人間発達学）

CS2-1 神経性やせ症の疫学と症状、検査所見、診断

真田 陸（福井大学精神医学）

CS2-2 回避・制限性食物摂取症の疫学と病態、診断、外来治療

渡邊 由香（たかみやこころのクリニック）

CS2-3 神経性やせ症の外来治療－入院治療との分水嶺を考えながら－

岡崎 康輔（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん）

CS2-4 神経性やせ症と回避・制限性食物摂取症の入院治療

加藤 秀一（名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科）

14:00-16:00

シンポジウム2【日本児童青年精神科診療所連絡協議会提案シンポジウム】

児童精神科診療所から見た不登校～教育機関との連携の課題～

司会：奥野 正景（医療法人サヂカム会 三国丘こころのクリニック・三国丘病院）

司会：大瀧 和男（医療法人和音会 かずおメンタルクリニック）

S2-1 学校教育から見た不登校という現象

西牧 謙吾（独立行政法人国立病院機構新潟病院小児科）

S2-2 診療所から見た不登校の現状と考え方

奥野 正景^{1,2}、栗村 久実^{1,2}、岩橋 多加寿²

1. 医療法人サヂカム会 三国丘病院、2. 医療法人サヂカム会 三国丘こころのクリニック

S2-3 学校現場から見た不登校－スクールカウンセラーの視点から－

伊藤 美奈子（奈良女子大学大学院生活環境科学系）

S2-4 診療所から見た不登校の現状－実践－

大瀧 和男（医療法人和音会 かずおメンタルクリニック）

16:10-18:10

シンポジウム4

自閉スペクトラム症の感覚特性における本質と実践的な支援

司会：熊崎 博一（長崎大学医学部精神神経科学教室）

司会：中村 和彦（弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座）

S4-1 聴覚過敏の感覚プロフィールと聴覚科学

西村 倫子（浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター）

S4-2 嗅覚特性・偏食研究からみえてくるASD者の感覚特性

熊崎 博一（長崎大学医学部精神神経科学教室）

S4-3 自閉スペクトラム症の感覚の問題と社会性の関連

小坂 浩隆（福井大学 医学部 精神医学）

S4-4 ASDの感覚特性に基づいた支援

岩永 竜一郎（長崎大学生命医科学域）

1日目 10月17日(木) E会場(3F 第6会議室)

14:00-16:00

症例検討1

司会：大重 耕三（地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）
スーパーバイザー：齊藤 万比古（恩賜財団母子愛育会愛育研究所）

- C1-1 信じられない思いを抱えながら関わり続けたことの治療的意義について
～嘘で身を固めた自閉スペクトラム症の男児Aの入院治療～
○早川 宜佑、清水 圭祐、岡野 恵里香、岩垂 喜貴、笠原 麻里
駒木野病院 児童精神科

16:10-18:10

症例検討2

司会：辻井 農亜（富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座）
スーパーバイザー：笠原 麻里（医療法人財団青溪会 駒木野病院）

- C2-2 「重症自殺企図後に生きる意味を問い続けた10代女子」
○石田 匡宏、畑中 聡仁
福岡大学医学部精神医学教室

1日目 10月17日(木) F会場(3F 第5・7会議室)

14:00-15:15

一般口演1

薬物治療・器質

司会：押淵 英弘（東京女子医科大学 神経精神科）

- O2-1 自閉スペクトラム症に併存する過敏性腸症候群にアリピプラゾールが有効だった1例
○山根 謙一、松本 美菜子、高田 加奈子、岩屋 悠生、香月 大輔、山下 洋
九州大学病院 子どものこころの診療部
- O2-2 注意欠如多動性障害（以下 ADHD）に対してリスデキサンフェタミンを投与した159症例についての考察
山田 明
あきメンタルクリニック
- O2-3 2q欠失が早期発症、薬剤抵抗性統合失調症のリスク因子となる可能性が示唆された一例
○中村 博大^{1,2}、柳橋 達彦²、須田 史朗¹、倉田 和美²、稲川 優多¹
1. 自治医科大学精神医学講座、
2. 自治医科大学とちぎ子ども医療センター子どもの心の診療科
- O2-4 抗 NMDA 受容体抗体脳炎が疑われた症例
箱守 英雄
医療法人社団 恵愛会 安佐病院
- O2-5 神経発達症を伴う統合失調症にクロザピンが奏功した1例
○米澤 慎二郎、上月 ゆり子、藤田 俊之、松本 静子、神 崇慶、堀 孝文
茨城県立こころの医療センター

15:15-15:45

一般口演3

希死念慮

司会：清田 晃生（社会福祉法人別府発達医療センター 大分療育センター）

03-1 親の関わりが思春期の希死念慮に与える影響の検討

○河邊 憲太郎¹、松本 優²、井上 彩織²、楠 摩耶²、曾我 純也²、堀内 史枝¹、上野 修一²

1. 愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座、
2. 愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座

03-2 子どもの自殺予防を視野に入れた学校を中心とした多職種連携の特徴

○岡田 倫代¹、藤川 愛²、中土井 芳弘³

1. 高知大学大学院総合人間自然科学研究科教職実践高度化専攻、
 2. 高松市保健所、
 3. 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター
-

16:10-17:10

一般口演5

依存症

司会：佐々木なつき（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野）

05-1 児童精神科通院患者におけるゲーム行動症およびネット依存のスクリーニング陽性率について

○館農 勝、南波 江太郎、白石 映里、下村 遼太郎、館農 幸恵
ときわ病院

05-2 青年初期・中期におけるゲーム行動症の有病率とIGDT-10の過大推定問題

○井出 草平¹、中川 譲^{1,2}、牧野 拓也³、鈴木 太^{4,5}

1. 多摩大学情報社会研究所、
2. 宝塚大学大学院メディア芸術研究科、
3. 福井大学医学部精神医学、
4. 上林記念病院 こども発達センターあおむし、
5. 福井大学子どものこころの発達研究センター地域こころの支援部門

05-3 インターネットゲーム障害における認知機能障害について - MCCB 日本語版による検討 -

○南 陽香、白井 寿行、大塚 郁夫、岡田 将平、毛利 健太郎、岩本 直子、倉永 雅子、菱本 明豊
神戸大学医学部附属病院

05-4 ネットワーク分析によるインターネット依存と抑うつとの橋渡し症状とエフォートフル・コントロールの役割の探索

○廣田 智也^{1,5}、足立 匡基²、森 裕幸³、高橋 芳雄⁴、中村 和彦⁵

1. University of California San Francisco Department of Psychiatry and Behavioral Sciences、
 2. 明治学院大学 心理学部心理学科、
 3. 埼玉学園大学 人間学部心理学科、
 4. 東北大学スマート・エイジング学際重点研究センター、
 5. 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座
-

17:10-18:10

一般口演7

虐待

司会：榎屋 二郎（東京医科大学精神医学分野・東京医科大学病院こどものこころ診療部門）

07-1 一時保護所で児童精神科医ができること

○陶山 寧子¹、伊藤 みちる²

1. 横浜市中心児童相談所、2. 横浜市北部児童相談所

07-2 逆境の養育環境で育ち、爆発的な攻撃や自殺企図を繰り返した中学生女児の治療経過

○小高 麻衣子¹、板垣 琴瑛¹、原田 郁大²、箱島 有輝¹、稲崎 久美¹、水本 有紀¹、宇佐美 政英¹

1. 国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科、
2. 久留米市西部障害者基幹相談支援センター

07-3 児童相談所から児童精神科に診療依頼をされた被虐待児の臨床的特徴

○古橋 功一^{1,2}

1. 藤田医科大学医学部精神神経科学講座、2. 国立病院機構東尾張病院児童精神科

07-4 成人発達障害における逆境的小児体験（Adverse Childhood Experience：ACE）の痕跡

○榎戸 美佐子¹、角谷 陽平²、谷口 園子¹、米本 智美¹、松田 文恵¹

1. 医療法人社団和敬会 谷野呉山病院、2. 医療法人社団和敬会 谷野医院

1日目 10月17日（木）G会場（3F 第8会議室）

14:00-15:00

一般口演2

不登校

司会：補永 栄子（大阪大学大学院 連合小児発達学研究所）

01-1 長期のひきこもりとなった自閉スペクトラム症男性の一事例

～両親の心理面接から、家族の関係性の変化や対話の意味を考える～

○黒田 知沙、田宮 聡

姫路市総合福祉通園センター

01-2 「不登校開始時期の違いによる児童精神科患者の臨床的特徴について：単施設症例対照研究」

○佐々木 祥乃¹、宇佐美 政英²、板垣 琴瑛²、山本 啓太²、箱島 有輝²、稲崎 久美²、水本 有紀²、三上 克央⁴、辻井 農重³、岡田 幸之¹、高橋 英彦¹

1. 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野、
2. 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科、
3. 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座、
4. 東海大学医学部医学科総合診療精神科学

01-3 家庭内暴力のある児と家族に同席面接を継続し、患児の特性に合わせた家族間のコミュニケーション方法の調整ならびに児の情緒発育を促した一例

○山形 祥礼¹、辻井 農重²、丹羽 篤¹、佐久田 静¹、橋本 衛¹

1. 近畿大学病院精神神経科、2. 富山大学附属病院子どものこころと発達診療科

01-4 外出に不安を感じる患児とその両親に治療目標を共有することで再登校できた1症例

○山内 滉基、宋 大光

宋こどものこころ醫院

15:15-16:00

一般口演 4

外来統計

司会：木原 弘晶（金沢医科大学病院 精神神経科学）

04-1 自閉症スペクトラム児の感覚と睡眠障害の関連

○藤原 伸治、清水 日智、川原 紘子、田添 健裕、熊崎 博一
長崎大学病院 精神神経科学教室

04-2 当院における「発達障害・児童思春期外来」開設後3年間の初診患者の傾向の分析

一ノ瀬 仁志

医療法人見松会 あきやま病院

04-3 児童精神科に通院する患者家族の薬物治療に対する意識調査

○楠 麻耶、河邊 憲太郎、松本 優、井上 彩織、曾我 純也、堀内 史枝、上野 修一
愛媛大学医学部附属病院

04-4 小中学生の Cognitive Disengagement Syndrome (Sluggish cognitive tempo) 傾向と自閉スペクトラム症・注意欠如多動症特性、保護者の養育行動との関連

末田 慶太郎

札幌市子ども発達支援総合センター 子ども心身医療センター

16:10-17:10

一般口演 6

限局性学習症・知的発達症

司会：藤田 純一（横浜市立大学附属病院）

06-1 学習障害疑いとして来談した中学生男子との心理面接過程

牧野 裕也

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

06-2 自閉スペクトラム症児の知的能力と向社会的行動との関係について

○砂田 桃¹、長尾 海里⁷、山田 晶子⁴、森本 佳奈⁴、佐々木 彩恵子⁴、才田 晴奈²、宇留野 圭²、栗添 恵理³、戸瀬 景茉¹、上月 遥¹、磯部 昌憲¹、義村 さや香⁵、上床 輝久⁶、村井 俊哉¹

1. 京都大学大学医学部附属病院 精神科神経科、2. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学、
3. 京都大学医学部附属病院 臨床心理室、4. 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座、
5. 京都大学医学部 人間健康科学科、6. 京都教育大学 保健管理センター、
7. 京都文教大学 心理臨床センター

06-3 思春期早発症合併の知的障害を伴う自閉スペクトラム症の検討

○梶原 美郷¹、上月 遥²、山本 沙也加³、才田 晴奈^{2,1}、磯部 昌憲²、長倉 いのり¹、村井 俊哉²

1. 京都市児童福祉センター診療所、2. 京都大学医学部附属病院精神科神経科、
3. 京都女子大学

06-4 東京都立大塚病院における限局性学習症の診療について

○久保田 康介、武井 仁

東京都立病院機構 東京都立大塚病院

17:10-18:10

一般口演8

摂食障害①

司会：上月 遥（京都大学医学部附属病院精神科神経科）

08-1 摂食障害患者の初回入院治療中における好中球／リンパ球比の動態と臨床的意義

○稲川 優多、倉田 和美、小尾 誠治、中村 博大、柳橋 達彦、須田 史朗
精神医学講座

08-2 小児摂食障害の頭部 MRI における骨髄脂肪変化とその臨床的意義について

○小尾 誠治、柳橋 達彦、稲川 優多、倉田 和美、中村 博大
自治医科大学附属病院

08-3 貧血等の改善に亜鉛の補充が有効と思われた神経性やせ症の一例

○小林 奈津子¹、菊地 紗耶^{1,2}、松木 佑¹、佐々木 和人¹、小野寺 文一郎³、富田 博秋^{1,2}
1. 東北大学病院精神科、2. 東北大学病院医学系研究科 精神神経学分野、
3. こだまホスピタル

08-4 回避・制限性食物摂取障害（ARFID）が疑われたが、造影 CT で器質異常が明らかとなった2症例

○野間口 和也、今村 研介、島田 尚子、浦田 結嘉、佐々木 なつき、中村 雅之
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 精神機能病学分野

2日目 10月18日（金）A会場（1Fメインホール）

9:00-11:00

シンポジウム5

児童思春期の急速な物質使用の拡大とその背景

司会：小平 雅基（総合母子保健センター愛育クリニック）

司会：大重 耕三（地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）

S5-1 依存症臨床から見た、十代における市販薬使用症の実態と治療上の課題

松本 俊彦（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

S5-2 精神科救急医療における若年者の市販薬乱用の現状と取り組み

大重 耕三（地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）

S5-3 子どもたちは、物質使用することで何を求めているのか 児童相談所の現場から

上野 千穂（京都市児童福祉センター診療所）

S5-4 児童思春期病棟における市販薬過量服薬を繰り返す患者の治療について

花房 昌美（大阪精神医療センター）

指定討論：吉川 徹（愛知県尾張福祉相談センター）

11:10-12:10

特別対談

精神的支援と生活

司会：上野 修一（愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座）

演者：青木 省三（慈恵会精神医学研究所）

演者：村瀬 嘉代子（大正大学 名誉・客員教授／一般財団法人公認心理師試験研修センター）

12:20-13:20

共催セミナー1 【第一三共株式会社】

不安・不眠と躁・うつポリフォニーーその診立てと対応ー

司会：上野 修一（愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座）

不安・不眠と躁・うつポリフォニーーその診立てと対応ー

坂元 薫（医療法人和楽会心療内科・神経科赤坂クリニック／坂元薫うつ治療センター）

13:30-14:30

会長講演

時代をつなぐ児童青年精神医学

司会：岡田 俊（奈良県立医科大学精神医学講座）

演者：上野 修一（愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学）

14:40-16:40

シンポジウム 8

自閉スペクトラム症の精神病理を問い直す

司会：岡田 俊（奈良県立医科大学精神医学講座）

S8-1 自閉スペクトラム症における自閉・社会性の障害とは何か
岩垂 喜貴（駒木野病院）

S8-2 自閉スペクトラム症における強迫性・常同性とは何か
岡田 俊（奈良県立医科大学精神医学講座）

S8-3 自閉スペクトラム症における感覚過敏性とその位置づけ
高橋 秀俊（高知大学医学部 寄附講座 児童青年期精神医学）

S8-4 自閉スペクトラム症におけるカタトニア
吉川 徹（愛知県尾張福祉相談センター）

S8-5 発達障害とセックス, ジェンダー
砂川 芽吹（お茶の水女子大学 基幹研究院 人間科学系）

17:00-18:00

特別講演 2【市民公開講座】

チームマネージメント ～今治からの挑戦～

司会：上野 修一（愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座）

演者：岡田 武史（株式会社今治. 夢スポーツ）

9:00-11:00

シンポジウム6

子どもの複雑性 PTSD

—概念・診断・病態・ケア・治療について概観する：児童精神科医療に何が求められているのか—

司会：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座／岩手医科大学附属病院児童精神科）

司会：田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）

S6-1 ICD-11 の CPTSD 診断と周辺概念に関する整理：児童思春期の特徴とともに

大江 美佐里（久留米大学保健管理センター／久留米大学医学部神経精神医学講座）

S6-2 発達性トラウマ症の理解と対応

杉山 登志郎（福井大学 こころの発達研究センター）

S6-3 愛着外傷とメンタライジング

演者：崔 炯仁（いわくら病院）

S6-4 CPTSD の入院治療—専門療法を支える土壌—

八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座／岩手医科大学附属病院児童精神科）

指定討論：笠原 麻里（医療法人財団青溪会 駒木野病院）

11:50-13:20

共催セミナー2【ノーベルファーマ株式会社／株式会社メディパルホールディングス】

朝起きられない子どもへのアプローチ —昼夜逆転がこころに及ぼす影響—

司会：伊賀 淳一（愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座）

司会：堀内 史枝（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座）

「朝起きられない」に対する実践的対処法：心理社会的な背景も含めて考える

高江洲 義和（琉球大学大学院医学研究科 精神病態医学講座）

起立性調節障害や神経発達症の周辺症状（睡眠／覚醒）を治療して QOL を改善する

神林 崇（筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構）

14:40-16:40

薬事委員会セミナー

子どものうつ病

司会：根来 秀樹（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん こどものこころ診療センター）

司会：辻井 農重（富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座）

CS4-1 子どものうつ病をめぐる現状と課題

宇佐美 政英（国立国際医療研究センター 国府台病院児童精神科）

CS4-2 子どものうつ病：その鑑別と併存疾患

藤田 純一（横浜市立大学附属病院）

CS4-3 子どものうつ病：薬物治療

堀内 史枝（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座）

CS4-4 うつ病における診断と概念の変遷

木原 弘晶（金沢医科大学病院 精神神経科）

CS4-5 児童思春期うつ病の非薬物療法—認知行動療法・対人関係療法・デジタルデバイスを用いた介入—

岡崎 康輔（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん）

9:00- 9:45

一般口演9

PCIT

司会：小平 かやの（東京都児童相談センター）

09-1 場面緘黙症の子どもと親を対象とした PCIT-SM (Parent-Child Interaction Therapy Adapted for Selective Mutism) の日本への導入の現状と課題

細金 奈奈^{1,2}、木原 望美^{2,3,4}、門田 行史⁵、倉根 超、伊東 史エ⁶、加藤 郁子⁷、川崎 雅子⁸、
小平 雅基^{1,3,4}、加茂 登志子⁸

1. 総合母子保健センター 愛育クリニック小児精神保健科、
2. 愛育研究所 児童福祉・精神保健研究部、
3. 総合母子保健センター愛育クリニック医療福祉室、
4. 愛育産後ケア子育てステーション子どものこころ相談室、
5. 自治医科大学小児科、
6. 医療法人財団青溪会 駒木野病院、
7. さいたま市子ども家庭総合センター、
8. 一般社団法人日本 PCIT 研修センター

09-2 場面緘黙症と自閉スペクトラム症診断のある9歳男児に対する Parent-Child Interaction Therapy Adapted for Selective Mutism の試み

伊東 史エ¹、岩垂 喜貴¹、細金 奈奈^{3,4}、木原 望美^{3,5}、門田 行史⁶、倉根 超⁶、加藤 郁子⁷、
川崎 雅子²、笠原 麻里¹、加茂 登志子²

1. 医療法人財団青溪会 駒木野病院、
2. 一般社団法人日本 PCIT 研修センター、
3. 愛育研究所 児童福祉・精神保健研究部、
4. 総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科、
5. 愛育クリニック医療福祉室・愛育産後ケア子育てステーション子どものこころ相談室、
6. 自治医科大学小児科、
7. さいたま市子ども家庭総合センター

09-3 PCIT-SM (Parent-Child Interaction Therapy for Selective Mutism) により変化した親の対応が児の症状に効果的であった一例

倉根 超¹、門田 行史¹、細金 奈奈^{2,3}、木原 望美^{2,3,4}、伊東 史エ⁵、加藤 郁子⁶、川崎 雅子⁷、
加茂 登志子⁷

1. 自治医科大学小児科、
2. 愛育研究所 児童福祉・精神保健研究部、
3. 総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科、
4. 愛育産後ケア子育てステーション子どものこころ相談室、
5. 医療法人財団青溪会 駒木野病院、
6. さいたま市子ども家庭総合センター、
7. 一般社団法人日本 PCIT 研修センター

10:10-12:10

シンポジウム7

児童青年精神医学キャリア・カフェー地域で児童精神科を学び実践するー

司会：小坂 浩隆（福井大学 医学部 精神医学）

司会：辻井 農重（富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座）

- S7-1 北海道大学病院子どものこころと発達センターにおける児童精神科研修の取り組み
大島 由季代（北海道大学病院 こどものこころと発達センター）
- S7-2 長崎県の事業委託による信州大学の児童精神科医育成
本田 秀夫（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室）
- S7-3 「相模原市寄附講座『地域児童精神科医療学』について」～『Remember Me (3R) プロジェクト』～
神谷 俊介（北里大学医学部精神科学 相模原市寄附講座「地域児童精神科医療学」）
- S7-4 浜松医科大学児童青年精神医学講座のこれまでの活動と今後の課題
高貝 就（浜松医科大学 児童青年期精神医学講座）
- S7-5 名古屋市立大学病院こころの発達診療研究センターの取り組み
ー病院内の診療にとどまらない神経発達症医療の実践ー
○山田 敦朗^{1,2}、永井 幸代^{1,2}、大橋 圭^{1,2}、坂田 昌嗣^{1,2}、山田 理恵^{1,2}、野木村 茜^{1,2}
1. 名古屋市立大学大学院医学研究科 こころの発達医学寄附講座、
2. 名古屋市立大学病院 こころの発達診療研究センター
- S7-6 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座より
○辻井 農重¹、平岩 明子^{1,2}
1. 富山大学附属病院こどものこころと発達診療学講座、
2. 富山大学医学部小児科学教室
- S7-7 福井大学で児童精神医学の臨床と研究を一緒に行いましょう
小坂 浩隆（福井大学 医学部 精神医学）
- S7-8 高知県での児童精神医学の学びと実践：高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学における取組
について
○高橋 秀俊^{1,2}、小松 静香^{1,2}、大原 伸騎²
1. 高知大学 医学部 寄附講座 児童青年期精神医学、
2. 高知大学医学部附属病院 神経精神科
- S7-9 愛媛で目指す、頼れる児童精神科医！
○河邊 憲太郎¹、上野 修一²、堀内 史枝¹
1. 愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座、
2. 愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座
- S7-10 長崎大学病院地域児童思春期診療部における児童精神科医の育成
熊崎 博一（長崎大学医学部精神神経科学教室）

9:00-10:00

教育講演2

少年犯罪と精神鑑定

司会：館農 勝（ときわ病院）

演者：安藤 久美子（東京医科歯科大学／聖マリアンナ医科大学）

10:00-11:00

教育講演3

不登校の臨床

司会：織田 侑南（愛媛大学医学部附属病院精神神経学講座）

演者：山崎 透（医療法人社団 宗美会 清水駿府病院）

11:10-12:10

教育講演4

子どものころに寄り添うために

司会：岡田 俊（奈良県立医科大学精神医学講座）

演者：飯田 順三（医療法人南風会万葉クリニック子どものころセンター絆）

12:20-13:20

共催セミナー3【ヤンセンファーマ株式会社】

メタバースと発達障害

司会：杉山 登志郎（福井大学子どものころの発達研究センター 地域こころ支援部門）

演者：松田 文雄（医療法人翠星会 松田病院）

14:40-16:40

シンポジウム9

親子相互交流療法 Parent-Child Interaction Therapy (PCIT) の展開

ー PCIT の実際と有効性、福祉、医療現場からの報告

司会：松本 慶太（大阪市立総合医療センター 児童青年精神科）

司会：加藤 郁子（さいたま市子ども家庭総合センター）

S9-1 日本における PCIT の実践と普及

加茂 登志子（日本 PCIT 研修センター／若松町こころとひふのクリニック）

S9-2 PCIT（親子相互交流療法）の有効性の検討ー子どもの行動と養育者のメンタルヘルスの観点からー

川崎 雅子（一般社団法人 日本 PCIT 研修センター）

S9-3 児童相談所での PCIT の実践

安常 香（広島県西部こども家庭センター）

S9-4 医療機関での PCIT の実践

梶梅 あい子（あおさきこども心療所）

17:00-17:45

一般口演 17

トラウマ

司会：大平 洋明（宮崎大学医学部附属病院 精神科）

017-1 トラウマの視点から見た境界性パーソナリティ障害

吉村 淳

美喜和会 オレンジホスピタル

017-2 東日本大震災後の保護者の精神健康と震災直後に出生した子どもの知的・認知発達との関連についての検討

○山家 健仁^{1,2}、千葉 柁作^{2,3}、吉岡 靖史^{1,2}、内出 希^{1,2}、柿坂 佳菜恵^{1,2}、榎屋 二郎⁴、
福地 成⁵、松浦 直己⁶、八木 淳子^{1,2}

1. 岩手医科大学神経精神科学講座、2. 岩手医科大学附属病院児童精神科、
3. 東北大学大学院教育学研究科、4. 東京医科大学精神医学分野、5. 東北医科薬科大学、
6. 三重大学教育学部

017-3 対人不安による不登校傾向のあった大学生の COVID-19 パンデミック前後の経過の混合研究

○武田 俊信、滋野井 一博

龍谷大学文学部 臨床心理学科

2日目 10月18日（金）E会場（3F 第6会議室）

9:00-11:00

症例検討3

司会：太田 豊作（奈良県立医科大学 人間発達学）

スーパーバイザー：鈴木 太（上林記念病院 こども発達センターあおむし／福井大学子どものこころの
発達研究センター）

演者：竹中 加奈（名古屋大学医学部附属病院）

C3-3 COVID-19 罹患後に飲食、歩行、会話、セルフケアを拒絶するようになり、広汎性拒絶症候群の診断に至った男児の1例

竹中 加奈（名古屋大学医学部附属病院／刈谷病院）

11:10-11:55

一般口演 13

多職種連携

司会：河野美帆（医療法人 一誠会 都城新生病院 児童・思春期精神科）

013-1 神経発達症児支援を巡る教員の認識調査－医療学校連携に関する検討－

○上月 遥¹、河邊 憲太郎²、堀内 史枝²、井上 彩織³、山田 晶子⁴、森本 佳奈⁴、磯部 昌憲¹、
村井 俊哉⁴

1. 京都大学医学部附属病院精神科神経科、2. 愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座、
3. 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、
4. 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座

013-2 子どもの健康課題解決のための学校と専門職者との連携協働に関する検討（3）
－委員会の機能評価に基づく分析－

○綿井 雅康、采女 智津江^{1,3}、生天目 聖子^{1,4}、十一 元三¹

1. 神経発達症研究推進機構、2. 十文字学園女子大学教育人文学部、
3. 順天堂大学スポーツ健康科学部、4. 滋賀県心の教育相談センター

013-3 児童相談所問題に対する医学、司法、人権、教育、福祉、行政など多角的介入や外的アプローチの必要性について

生月 弓子¹、高橋 しづこ³、西本 佳世子³

1. 浜田病院 産婦人科、2. 東京大学医学部大学院医療倫理学教室、3. 可知病院 児童精神科

12:20-13:20

共催セミナー4 【武田薬品工業株式会社】

ADHDの脳病態から最適な治療戦略を考える

司会：小野 和哉（聖マリアンナ医科大学 医学部医学科 神経精神科学）

演者：山室 和彦（奈良県立医科大学 精神医学講座・健康管理センター）

14:40-15:55

一般口演 15

ジェンダー

司会：松本 洋輔（岡山大学病院ジェンダーセンター）

O15-1 ユトレヒト性別違和とスケールを用いた自閉スペクトラム症における性別違和感についての評価

○館農 勝¹、下出 崇輝³、下村 遼太郎^{1,2}、白石 映里^{1,2}、南波 江太郎^{1,2}、館農 幸恵²

1. ときわ病院、2. ときわこども発達センター、3. しもでメンタルクリニック平岸分院

O15-2 性別違和症状を有する児童思春期例における抑うつ症状と自殺念慮について

○菊地 紗耶^{1,2}、小林 奈津子²、小野寺 文一郎¹、坪田 瑠美²、松木 佑²、佐々木 和人²、富田 博秋^{1,2}

1. 東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野、2. 東北大学病院 精神科

O15-3 性別違和感尺度を用いた高校生の性別違和感

—カットオフ値の検討とより簡便な臨床活用について—

○吉野 真紀¹、鷺見 聡²、木下 真也³、川端 康雄⁴、上島 奈菜子⁵、高山 真衣⁴、康 純⁶

1. 日本福祉大学 教育・心理学部 心理学科、2. 金城学院大学 看護学部 看護学科、
3. 大阪医科薬科大学 神経精神医学教室、4. 大阪医科薬科大学病院 精神神経科、
5. 駒澤大学 文学部 心理学科、6. 関西大学 保健管理センター

O15-4 自閉スペクトラム症を背景に解離症状、幻覚を示した性別違和の一例

○山田 敦朗¹、野木村 茜¹、堀 未来²、山田 理恵¹、坂田 昌嗣¹、大橋 圭¹、永井 幸代¹

1. 名古屋市立大学病院 こころの発達診療研究センター、
2. 名古屋市発達障害者支援センター りんくす名古屋

O15-5 児童期に性別不恰が疑われる事例において鑑別すべき状態と対応

中山 浩

川崎市南部児童相談所

16:00-18:00

症例検討 4

司会：高宮 静男（たかみやこころのクリニック）

スーパーバイザー：青木 省三（公益財団法人 慈圭会精神医学研究所）

C4-4 「みんなといたい」から始まった回避・制限性食物摂取症と診断可能であった男児の入院治療

○西本 佳世子¹、大賀 肇²、田崎 みどり^{1,3}

1. 医療法人 鳳紀会 可知病院、2. 医療法人 仁精会 三河病院、
3. 子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ

9:00-10:00

一般口演 10

強度行動障害

司会：會田 千重（国立病院機構肥前精神医療センター）

- O10-1 児童思春期病棟入院中職員への暴力から、その後の処遇について苦慮した自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、軽度知的能力症の1例
○大賀 肇、右田 結花、國井 千瑛里
三河病院
- O10-2 知的障害入所施設における強度行動障害の分析
高橋 和俊
ゆうあい会石川診療所
- O10-3 強度行動障害のある患者の身体的急変の特徴
～肥前精神医療センター療養介護病棟の急変事例の分析から～
○山元 美和子、諸岡 知美、西村 泰亮、石津 良子、大坪 建、會田 千重、浪花 孝明、和田 芳郎
肥前精神医療センター
- O10-4 強度行動障害をもつ児・者の専門病棟における職員研修－ POINT モデルと QOL 尺度作成の試み－
田中 恭子、新井 琴子
国立病院機構菊池病院

10:00-11:00

一般口演 12

摂食障害②

司会：根來 秀樹（一般財団法人信貴山病院 ハートランドしぎさん／こどものこころ診療センター）

- O12-1 注意欠陥多動性障害（ADHD）を合併した回避・制限性食物摂取障害（ARFID）においてトークンエコノミー法が有効であった2症例
○塩津 大地¹、島田 尚子¹、新井 薫¹、瀬戸下 玄郎¹、近藤 哲也^{1,3}、有村 尚也¹、崎元 仁志^{1,2}、佐々木 なつき¹、福原 竜治¹、中村 雅之¹
1. 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 精神機能病学分野、2. 医療法人 仁愛会 花倉病院、3. 鹿児島県立始良病院
- O12-2 思春期女子病棟で入院加療を行った神経性やせ症と強迫症を併存する一例
○石田 寛佳、今泉 靖世、岩本 圭祐、長沢 崇
東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科
- O12-3 本音と言えない摂食障害女児の4年間の治療過程について
○箱島 有輝、山本 啓太、板垣 琴瑛、稲崎 久美、水本 有紀、宇佐美 政英
国立国際医療研究センター国府台病院
- O12-4 成人精神科病棟での児童青年期摂食障害の治療経験から得られた課題
○櫻井 飛鳥^{1,2}、栗田 大輔^{3,4}
1. 国立病院機構 天竜病院 子どものこころのケアセンター 児童精神科、
2. 浜松医科大学 精神医学講座、3. 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院 精神科、
4. 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院 精神科

11:10-12:10

一般口演 14

摂食障害③

司会：細川 里瑛（愛媛大学医学部付属病院精神神経学講座）

O14-1 北海道大学病院における児童思春期の神経性やせ症の臨床的特徴

○宮崎 将也¹、三井 信幸²

1. 小樽市立病院、2. 北海道大学病院

O14-2 小児の神経性無食欲症・神経性大食症以外の摂食障害の特徴について

○山本 道雄¹、吉井 亜希子^{1,2}、栗原 太郎¹、永井 直子¹、前川 優介¹、鈴木 悠¹、尾野 美奈子¹、豊原 公司¹、庄 紀子¹

1. 神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科、
2. 東京さつきホスピタル 発達・思春期精神科

O14-3 高知大学医学部附属病院での未成年の摂食障害に対する取組

～発達障害特性に配慮した児童精神科領域のコンサルテーション・リエゾン活動を中心に～

○小松 静香^{1,2}、大原 伸騎²、高橋 秀俊^{1,2}

1. 高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学、2. 高知大学医学部附属病院精神科

O14-4 浜松医科大学医学部附属病院精神科を初診した摂食症児童の性差の検討

○中村 佳夏¹、和久田 智靖¹、横倉 正倫¹、竹林 淳和¹、高貝 就²

1. 浜松医科大学医学部附属病院精神科神経科、2. 浜松医科大学児童青年期精神医学講座

14:40-15:55

一般口演 16

精神療法

司会：上床 輝久（京都教育大学 保健管理センター）

O16-1 思春期病棟入院加療中に美容整形外科手術を受けた女子の3症例

○遠藤 季哉、中川 吉丈、川久保 綾香、根路銘 要太、持田 藍、吉井 亜希子
東京さつきホスピタル

O16-2 幼少期からの注射恐怖に対して曝露療法が有効であった一例

○原田 健一郎、光井 瞳、山科 貴裕、藤井 優子、佐藤 裕子、中川 伸
山口大学医学部附属病院 精神科神経科

O16-3 森田療法的面接で治癒した思春期症例から考察した自己意識の葛藤について

原田 聰志

独立行政法人国立病院機構 琉球病院

O16-4 被虐待経験を持つ、暴力行為が絶えない12歳男児の一例

○小田 暁^{1,3}、伊丹 寛二^{1,4}、岡田 英哲²、内田 修二¹、竹内 俊介¹、大西 雄一³、三上 克央³

1. 医療法人 弘徳会 愛光病院、2. 医療法人 弘徳会 愛光病院 地域連携支援局 心理科、
3. 東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学、4. 東海大学医学部付属八王子病院 精神科

O16-5 自閉スペクトラム症スクリーニングにおける機械学習を用いた図形描画評価の可能性

○田添 健裕¹、寺田 和憲²、大本 正義³、清水 日智¹、岩永 竜一郎⁴、今村 明⁴、熊崎 博一¹

1. 長崎大学病院精神科神経科、2. 岐阜大学工学部、3. 静岡大学情報学部、
4. 長崎大学医学部保健学科

16:00-18:00

倫理委員会セミナー

児童青年期精神科入院治療における隔離・拘束をめぐる倫理的課題

司会：河野 美帆（医療法人一誠会 都城新生病院 児童・思春期精神科）

司会：太田 順一郎（岡山市こころの健康センター）

CS5-1 小児病院児童精神科病棟における隔離・拘束の現状と課題

庄 紀子（神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科）

CS5-2 入院治療における行動制限を最小化し、より治療的な関わりとなるための工夫

～治療構造と治療的な意味づけの必要性～

堀川 直希（医療法人コミュニテ風と虹 のぞえの丘病院）

CS5-3 児童思春期精神科入院治療における隔離拘束について考える

－知的障害および行動障害を伴う自閉症児の入院治療から－

中西 大介（三重県立子ども心身発達医療センター）

指定討論：田中 究（兵庫県立 ひょうご こころの医療センター）

2日目 10月18日（金）G会場（3F 第8会議室）

9:00-10:00

一般口演 11

家族支援

司会：本多 奈美（東北大学大学院教育学研究科 教育心理学講座 臨床心理学分野）

O11-1 児童精神科での療育によって母が自らの不安に打ち勝つことができた1症例

－子どもを介した親へのアプローチ－

藤枝 周平、宋 大光

医療法人不動心 宋こどものこころ醫院

O11-2 神経性やせ症の子どもを持つ家族を対象としたオンライン集団心理教育

○公家 里依^{1,2}、中野 未来³、児島 佳代子¹、倉橋 佳那⁴、白石 健^{1,2,4}、牧田 みずほ^{1,2}、
篠山 大明^{1,2,4}、本田 秀夫^{1,2}

1. 信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、

2. 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、

3. 信州大学医学部附属病院リハビリテーション部、4. 信州大学医学部精神医学教室

O11-3 家族に対する発達障害の診断告知について考えた症例の報告

原 碧

国立病院機構琉球病院

O11-4 医療学校連携における教員と保護者の認識の差異

○磯部 昌憲^{1,2}、上月 遥^{1,2}、山田 晶子²、森本 佳奈²、井上 彩織³、河邊 憲太郎⁴、堀内 史枝⁴、
村井 俊哉²

1. 京都大学医学部附属病院精神科神経科、2. 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座、

3. 愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、

4. 愛媛大学大学院医学系研究科児童精神医学講座

10:10-12:10

子どもの人権と法に関する委員会セミナー

精神保健福祉法と子どもの人権

司会：田中 容子（府中刑務所）

司会：木村 一優（医療法人社団新新会多摩あおば病院）

CS3-1 2022年精神保健福祉法改正について

太田 順一郎（岡山市こころの健康センター）

CS3-2 精神保健および精神障害者福祉に関する法律の一部改正が児童精神科医療の現場にもたらした影響に関する予備調査

関 正樹（大湫病院）

CS3-3 わが国の精神医療における身体拘束の問題点

長谷川 利夫（杏林大学保健学部リハビリテーション学科）

14:40-16:30

映画上映

「ノルマル 17 歳。－わたしたちは ADHD－」

司会：本田 秀夫（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室）

司会：上野 千穂（京都市児童福祉センター診療所）

コメンテーター：北 宗羽介（八艶合同会社）

17:00-17:45

一般口演 18

摂食障害④

司会：磯部 昌憲（京都大学医学部附属病院）

O18-1 Family-Based Treatment で毅然とした両親の治療行動を促した回避・制限性食物摂取症の小学生の一例

○坂田 昌嗣^{1,2}、稲垣 貴彦³、西川 公平^{1,3,4}

1. CBT センター、2. 名古屋市立大学大学院医学研究科こころの発達医学寄附講座、
3. 一般社団法人 CBT を学ぶ会、4. 滋賀医科大学精神医学講座

O18-2 Family Based Therapy の部分的な導入により回復につながった回避・制限性食物摂取症の一例

○小野 剛^{1,4}、津崎 心也³、神谷 俊介^{1,2}、稲田 健¹

1. 北里大学医学部精神科学、2. 北里大学医学部 地域児童精神科医療学、
3. 北里大学病院臨床心理室、4. 東日本少年矯正医療・教育センター

O18-3 11 歳摂食障害の女児の治療を通じた一考察

○木戸 瑞江、金平 隆彰、中村 祐

香川大学医学部附属病院精神神経科

10:00-11:00

ポスター 1

ADHD

司会：木村 亮 (大阪大学 大学院連合小児発達学研究所)

P1-1 学童期病棟で入院治療を行った9歳女兒の一例 ～多職種アプローチによる治療の展開～

○関口 真理子、吉田 賢、長沢 崇

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター 児童・思春期精神科

P1-2 グアンファシンによる治療前後の小児期注意欠如・多動症の mismatch negativity

○山中 清里¹、水井 亮¹、赤木 優月²、吉原 尊浩³、岡崎 康輔⁴、山室 和彦¹、浦谷 光裕⁵、太田 豊作⁶、岡田 俊¹

1. 奈良県立医科大学 精神医学講座、2. 奈良県総合リハビリテーションセンター 精神科、
3. 東大阪市立障害児者支援センター、4. ハートランドしぎさん こどものこころ診療センター、
5. 万葉クリニック 子どものこころセンター絆、6. 奈良県立医科大学 人間発達学

P1-3 注意欠如多動症および自閉スペクトラム症児のデフォルトモードネットワークに焦点を当てた定量脳波解析

○佃 万里、池田 俊一郎

関西医科大学総合医療センター

P1-4 注意欠如・多動症の薬物治療転帰と患者背景・副作用との関連

－発達障害専門クリニックにおける後方視的調査－

田村 立

長岡こころの発達クリニック

10:00-11:00

ポスター 2

症例報告①

司会：仲地 究 (一般財団法人創精会 松山記念病院)

P2-1 低体重・自宅閉居状態であったが入院を契機に登校を再開できた回避・制限型食物摂取症の一例

○明石 倫子、西木 百合子、長沢 崇

東京都立小児総合医療センター

P2-2 診断閾値下の自閉スペクトラム障害特性による衝動的な行動と強迫症状に対して、アリピプラゾールと行動分析による疾患教育が効果を示した一例

井下 真利

医療法人むつみホスピタル

P2-3 外来診療における家族療法的介入についての考察

～神経発達症を有する同胞への並行治療が奏功した一例～

○山内 美紀子^{1,2}、飯田 聡子¹、野村 健介^{1,2}

1. 島田療育センター、2. 慶應義塾大学 医学部

P2-4 睡眠リズムに着目した治療により生活の質の改善した起立性調節障害の2例

○上月 ゆり子、神 崇慶、藤田 俊之、松本 静子、米澤 慎二郎、堀 孝文

茨城県立こころの医療センター

10:00-11:00

ポスター3

支援・サービス（神経発達症）

司会：猪股誠司（湘南福祉センター診療所）

P3-1 発達障害の支援サービス機能の簡易実用評価－その1：気づきから診断に向けて－

○中嶋 彩^{1,2}、小林 真理子³、梶舘 尚武³、有泉 風²、本田 秀夫¹

1. 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、
2. (福) 子育て・発達の里 こころのサポートセンターネストやまなし、
3. 山梨英和大学 人間文化学部

P3-2 発達障害の支援サービス機能の簡易実用評価－その2：就学から就労・自立前まで－

○中嶋 彩^{1,2}、小林 真理子³、菊池 恵⁴、有泉 風¹、本田 秀夫²

1. (福) 子育て・発達の里 こころのサポートセンターネストやまなし、
2. 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、
3. 山梨英和大学 人間文化学部、
4. 山梨県教育委員会

P3-3 障害児通所支援の受給決定要件に関する実態調査

○稲田 尚子¹、宇野 洋太⁴、小林 真理子³、川島 慶子²、下野 九理子⁵、内山 登紀夫²

1. 大正大学、
2. 福島学院大学、
3. 山梨英和大学、
4. よこはま発達クリニック、
5. 大阪大学

P3-4 包括的アセスメントにおける適応行動の分析および支援アプローチ

○萩原 拓、蔦森 英史、片桐 正敏

北海道教育大学旭川校

11:10-11:40

ポスター4

CARE／PCIT

司会：井上 悠里（医療法人豊仁会 まな星クリニック）

P4-1 タイムアウトへの抵抗感がない児とその母親に親子相互交流療法（PCIT）を実施した症例

○河野 里沙¹、洲濱 裕典²、梶梅 あい子^{1,3}

1. あおさきこども心療所、
2. 松田病院、
3. 広島大学病院小児科

P4-2 岡山県子ども心の診療ネットワーク事業における子どもと大人の絆を深めるプログラム（CARE）の展開

○壺内 昌子^{1,2}、高橋 友香⁵、井上 悠里⁴、串田 吉生⁴、松田 文子³、武内 清子³、古田 大地³、大重 耕三³、武井 祐子⁶、笹野 京子⁵、中島 洋子⁴

1. 岡山市発達障害者支援センター、
 2. 岡山市こども総合相談所、
 3. 岡山県精神科医療センター、
 4. まな星クリニック、
 5. なのはなクリニック、
 6. 川崎医療福祉大学
-

11:10-11:55

ポスター 5

症例報告②

司会：梅原 英裕（徳島大学大学院医歯薬学研究部精神医学分野）

P5-1 広汎性拒絶症候群として入院治療中に病的体験の存在が疑われ、統合失調症に準じた薬物療法と電気けいれん療法が著効した思春期女兒の一例

○牧田 みずほ^{1,2}、白石 健^{2,3}、公家 里依^{1,2}、篠山 大明^{2,3}、本田 秀夫^{1,2}

1. 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、
2. 信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、
3. 信州大学医学部精神医学教室

P5-2 軽度知的障害に併存した退行を伴う強迫性障害の一例

○明石 倫子、西木 百合子、海老島 健、長沢 崇

東京都立小児総合医療センター

P5-3 家族の自死を契機として強迫性障害を発症し、不登校を認めた3症例

○和氣 玲^{1,3}、稲垣 卓司²、山下 智子³

1. 島根大学医学部出雲保健管理センター、
2. 島根大学教育学部特別支援教育専攻、
3. 島根大学医学部精神医学講座

11:10-11:55

ポスター 6

強度行動障害

司会：會田 千重（国立病院機構肥前精神医療センター）

P6-1 強度行動障害への移行を防ぐために医療ができること（その1）

～多職種による知的障害及び行動障害を伴う自閉症児の「6ヶ月入院プログラム」～

○鷺野 千秋、高木 俊輔、鈴木 沙季、竹尾 真一郎、末吉 信夫、西川 知宏、中根 寿実、中西 大介
三重県立子ども心身発達医療センター

P6-2 強度行動障害への移行を防ぐために医療ができること（その2）

～Vineland- IIを活用し、「6か月入院プログラム」を経た知的障害及び行動障害を伴う自閉症児の成長の「見える化」を図る～

○中根 寿実、高木 俊輔、鈴木 沙季、末吉 信夫、林 ゆうか、鷺野 千秋、中西 大介
三重県立子ども心身発達医療センター

P6-3 強度行動障害への移行を防ぐために医療ができること（その3）

～知的障害及び行動障害を伴う自閉症10歳男児の「6ヶ月入院プログラム」による成長～

○竹尾 真一郎、山本 あすか、末吉 信夫、中根 寿実、鷺野 千秋、大概 一行、中西 大介
三重県立子ども心身発達医療センター

14:40-15:55

ポスター7

心理社会的援助・家族支援

司会：武井 庸郎（メンタルクリニックあいらす）

P7-1 攻撃行動により児童思春期精神科病棟に入院となった神経発達障害（NDD）児に対する看護ケア指針の開発

○加藤 有花^{1,2}、中山 祐一³、川原 妙¹、山崎 あけみ¹、加藤 康彦⁴、藤田 梓⁵

1. 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 生命育成看護開発講座 小児家族看護学研究室、
2. 国立循環器病研究センター健診部、
3. 大阪公立大学大学院看護学研究科、
4. 浜松医科大学精神医学講座、
5. 国立病院機構天竜病院

P7-2 女性 ASD 児が抱える『自分らしい』表現への葛藤と表出グループ実践を通じた変容過程一

○岩男 美美¹、岩男 尚美²、丸山 明子³

1. 中村学園大学 教育学部、
2. 筑紫女学園大学人間科学部、
3. 九州大学大学院人間環境学研究院

P7-3 児童精神科外来におけるゲームグループの活動報告

○高橋 萌々香¹、馬 敏宰¹、酒匂 雄貴¹、黒河内 敏成²、種瀬 秀一³、戸口 裕介⁴、吉村 裕太⁵、箱島 有輝¹、稲崎 久美¹、水本 有紀¹、宇佐美 政英¹

1. 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国府台病院、
2. 大石記念病院、
3. 松戸市こども発達センター、
4. 駒木野病院、
5. 福岡大学病院

P7-4 広島市こども療育センターにおける集団ペアレント・トレーニングの有効性について

○板垣 圭¹、王野 瑛登²、伊関 友紀²、山永 幸子²

1. 広島市こども療育センター 医療部 精神科、
2. 広島市こども療育センター 医療部 看護科

P7-5 神経発達症児を持つ親に対するペアレントトレーニングの取り組みと効果について

○久世 由姫¹、見山 朋恵²、河邊 憲太郎³

1. 一般財団法人 創精会 松山記念病院、
2. 一般財団法人 創精会 松山記念病院、
3. 愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座

14:40-15:25

ポスター8

研究・開発

司会：清水 日智（長崎大学病院 精神科神経科）

P8-1 一般的なパーソナルコンピュータで作動する感情分析の人工知能の開発と自閉スペクトラム症患者への臨床応用

○簡野 宗明、吉田 夕佳、藤橋 桃子、高橋 奈那、沼沢 卓真、水野 祐之介
山形大学医学部 精神科

P8-2 中学校移行期の情緒的・行動的問題の軌跡パターンにおける Autism Spectrum Disorder 特性の関連

○森 裕幸¹、高橋 芳雄³、足立 匡基²、新川 広樹⁴、長田 真人⁵、中村 和彦⁵

1. 埼玉学園大学 人間学部心理学科、
2. 明治学院大学 心理学部心理学科、
3. 東北大学 スマート・エイジング学際重点研究センター、
4. 弘前大学 教育学部、
5. 弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座

P8-3 成人期自閉スペクトラム症における近赤外線スペクトロスコピーによる前頭前野の血液動態反応の低下

○神川 浩平^{1,2}、山室 和彦²、水井 亮²、太田 豊作³、飯田 順三⁴、岡田 俊²

1. 奈良県総合医療センター 精神科、
2. 奈良県立医科大学 精神医学講座、
3. 奈良県立医科大学 人間発達学、
4. 万葉クリニック 子どものこころセンター絆

14:40-15:40

ポスター 9

メンタルヘルス

司会：小松 静香（高知大学医学部寄附講座 児童青年期精神医学）

P9-1 自閉スペクトラム症の子どもの趣味や余暇活動と QOL -学校などの友人との関係から-

○関 正樹^{1,2}、宮地 香澄¹、吉川 徹³、菱田 智也⁴、高岡 健⁵、井原 裕⁶

1. 大湫病院、
2. 獨協医科大学大学院医学研究科、
3. 愛知県尾張福祉相談センター、
4. 岐阜南病院、
5. 岐阜県立希望が丘子ども医療福祉センター、
6. 獨協医科大学埼玉医療センター

P9-2 職業ストレスに関与する保育士の性格特性についての検討

○栗添 恵理¹、佐々木 彩恵子³、砂田 桃⁴、山田 晶子⁴、森本 佳奈⁴、長尾 海里⁵、上月 遥²、磯部 昌憲²、村井 俊哉²

1. 京都大学医学部附属病院 臨床心理室、
2. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、
3. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学、
4. 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座、
5. 京都文教・短期大学

P9-3 保育士のメンタルヘルスについての検討 GHQ、QOL を通して

○佐々木 彩恵子¹、栗添 恵理³、砂田 桃⁵、山田 晶子⁵、森本 佳奈⁵、長尾 海里⁴、上月 遥²、磯部 昌憲²、村井 俊哉^{2,5}

1. 京都大学医学部附属病院 発達小児科学、
2. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、
3. 京都大学医学部附属病院 臨床心理室、
4. 京都文教・短期大学、
5. 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座

P9-4 大学生の AS 特性が過剰適応や社会的カモフラージュ行動を通してメンタルヘルスに与える影響 -愛着を手掛かりにして-

○篠田 菜々¹、篠田 直子²、篠田 晴男³

1. 千葉大学 大学院医学研究院 認知行動生理学、
2. 信州大学学術研究院教育学系、
3. 立正大学心理学部

16:05-16:50

ポスター 10

養育者（神経発達症）

司会：川原 紘子（長崎大学病院 精神科神経科）

P10-1 発達に課題のある子どもを育てる母親の育児ストレスの検討

○喜多 恭子¹、坪井 裕子²、山田 敦朗³、永井 幸代³、大橋 圭³

1. 名古屋市立大学大学院人間文化研究科博士前期課程臨床心理コース、
2. 名古屋市立大学大学院人間文化研究科、
3. 名古屋市立大学大学院医学研究科こころの発達医学寄附講座

P10-2 養育態度の世代間伝達と子どもの社会情緒的発達の関連①：肯定的な養育態度の場合

○松平 泉¹、山口 涼^{2,3}

1. 東北大学学際科学フロンティア研究所、
2. 東北大学大学院 医学系研究科、
3. 日本学術振興会

P10-3 養育態度の世代間伝達と子どもの社会情緒的発達の関連②：統制的な養育態度の場合

○山口 涼^{1,2}、松平 泉³

1. 東北大学大学院 医学系研究科、
2. 日本学術振興会、
3. 東北大学 学際科学フロンティア研究所

15:50-16:50

ポスター 11

検査・質問票

司会：水本 有紀（国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科／子どものこころ総合センター）

P11-1 改訂版標準読み書きスクリーニング検査の臨床的有用性について

～ Wechsler 検査 FSIQ 別の比較検討から～

○遠藤 未菜^{1,2}、村嶋 隼人^{1,2}、上月 恵里^{1,2}、岩橋 多加寿¹、奥野 正景^{1,2}

1. 医療法人サヂカム会三国丘こころのクリニック、2. 医療法人サヂカム会三国丘病院

P11-2 自閉スペクトラム症児における動的家族画・動的学校画特徴の検討

○尾崎 歩美¹、上野 修一¹、堀内 史枝²、河邊 憲太郎²、壺内 麻子¹

1. 愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座、
2. 愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座

P11-3 CAT-Q（自閉症特性カモフラージュ尺度）の活用方法についての質的検討

藤川 洋子、三好 智子

京都工芸繊維大学

P11-4 「子どもの様子に関する観察シート3歳版（CLASP-3y）」における吃音・チック・読み書き・運動発達についての予備解析

○斉藤 まなぶ¹、原 由紀²、金生 由紀子³、北 洋輔⁴、稲垣 真澄⁵、毛利 育子⁶、小枝 周平¹、照井 藍⁷、坂本 由唯⁸、大里 絢子¹

1. 弘前大学大学院保健学研究科、2. 北里大学医療衛生学部、3. 東京大学医学部附属病院、
4. 慶應義塾大学文学部、5. 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
6. 大阪大学大学院連合小児発達学研究科、7. 弘前大学大学院医学研究科、
8. 弘前大学医学部附属病院

15:50-16:50

ポスター 12

入院関連

司会：内出 希（岩手医科大学医学部神経精神科学講座／岩手医科大学附属病院児童精神科）

P12-1 児童精神科病棟での入院治療における小児期肯定的体験（PCE）の意義

○吉田 奈緒美、早川 宜佑、岩垂 喜貴、岡野 恵里香、清水 圭祐、笠原 麻里

医療法人財団青溪会 駒木野病院

P12-2 肥前精神医療センター児童思春期病棟における長期入院症例の検討

○石津 良子、山元 美和子、會田 千重、大坪 建、佐川 陽子、諸岡 知美、山下 陽子、和田 芳郎、三好 紀子、西村 泰亮、瀬口 康昌、近藤 萌、浪花 孝明

肥前精神医療センター

P12-3 地域単科精神科病院における児童思春期患者の入院治療 Part 2

○長根 亜紀子^{1,2}、手塚 直人²

1. 医療法人社団俊睿会 いずみクリニック、2. 医療法人社団俊睿会 南埼玉病院

P12-4 長期化しやすい摂食障害を小規模児童思春期ユニットで短期で治療を行うことは可能か？

○塚原 さち子、根本 泰明、島内 智子、安藤 久美子、小野 和哉

聖マリアンナ医科大学 神経精神科

17:00-18:00

ポスター 13

外来

司会：須山 聡（北海道大学病院 子どものこころと発達センター）

P13-1 精神科病院における児童思春期外来開設5年のあゆみと作業療法での取り組み

○見山 朋恵¹、久世 由姫¹、仲地 究¹、松本 優^{1,3}、河邊 憲太郎^{1,2}

1. 松山記念病院、2. 愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座、
3. 愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座

P13-2 高知大学医学部附属病院における周産期メンタルヘルス対策：児童精神科医療との連携

○大原 伸騎¹、小松 静香²、高橋 秀俊²

1. 高知大学医学部附属病院 精神科、2. 高知大学医学部寄附講座 児童青年期精神医学

P13-3 患児自身が外来受診を拒否し、短期で中断となったケースの検討

渡部 泰弘

秋田県立医療療育センター 小児科

P13-4 東大阪市立障害児者支援センター児童精神科外来の現状と課題（第2報）

○土居 史磨^{1,2,3}、川西 悠加^{2,3}、吉原 尊浩^{2,3}、山室 和彦³、相原 加苗²、山本 朗²、太田 豊作⁴、岡田 俊³

1. 公益財団法人復光会垂水病院、2. 東大阪市立障害児者支援センター、
3. 奈良県立医科大学精神医学講座、4. 奈良県立医科大学人間発達学

17:00-18:00

ポスター 14

学校調査

司会：船渡川 智之（東邦大学医学部精神神経医学講座）

P14-1 コロナ禍およびポストコロナにおける子どもの抑うつ・不安症状の推移：学校ベースのメンタルヘルススクリーニング

○西村 倫子^{1,2,6}、和久田 学^{1,2}、大須賀 優子^{1,2}、津久井 伸明^{1,2,6}、平田 郁絵^{1,6}、足立 匡基^{2,3}、高橋 芳雄^{2,4}、森 裕幸^{2,5}、片山 泰一^{2,6}

1. 浜松医科大学 子どものこころの発達研究センター、
2. 公益社団法人 子どもの発達科学研究所、
3. 明治学院大学 心理学部心理学科、4. 東北大学 スマート・エイジング学際重点研究センター、
5. 埼玉学園大学 人間学部心理学科、6. 大阪大学大学院 連合小児発達学研究所

P14-2 愛媛県内全小学5年生から中学2年生までの約4万人を対象としたうつ状態の活性化や機能障害をもたらす中核症状の検討—ネットワーク分析を用いて—

○武田 知也、徳岡 大、嘉瀬 貴祥

人間環境大学総合心理学部総合心理学科

P14-3 被虐待児童生徒の歯科健診結果と登校状況との関連について：不登校未然予防のためのリスク要因の把握を目指して

○鈴木 美樹江¹、高橋 雄介²

1. 愛知教育大学、2. 京都大学

P14-4 学校からの医療相談に関するテキストマイニングによる分析

○鈴木 龍太郎¹、中島 康輔¹、神谷 俊介^{1,2}、稲田 健^{1,2}

1. 北里大学医学部 地域児童精神科医療学、2. 北里大学医学部精神科学

17:00-18:00

ポスター 15

国際

司会：小川 しおり（名古屋大学 総合保健体育科学センター）

P15-1 中部国際空港におけるカームダウン・クールダウンスペースの設置に携わって

○栗林 英彦¹、河村 聡子²、夫馬 裕太³、柳澤 尚実¹、高岡 健¹

1. 岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 発達精神医学研究所、
2. 岐阜県中央子ども相談センター、
3. 岐阜県立多治見病院

P15-2 在外教育施設の子どもへの、デジタルコンテンツと五感を刺激する野外遊びによるメンタルヘルス支援—台湾でのパイロット研究—

○古川 美之、波平 百合香、大下 恵美子

千葉大学子どもこころの発達教育研究センター

P15-3 発達障害のある子の育児をする移民親の課題と発達支援

武田 瑞穂

十文字学園女子大学

P15-4 中国における神経発達症に関する認識不足について

○李 杉杉^{1,2}、武田 俊信²

1. 京都大学医学研究科人間健康科学系専攻、
2. 龍谷大学大学院臨床心理学科

3日目 10月19日(土) A会場(1Fメインホール)

8:50-10:50

シンポジウム 10

児童思春期病棟における「性」をめぐる諸問題について～現場での取り組みから～

司会：佐久間 陸貴（社会医療法人あさかホスピタル）

司会：佐々木 宏太（東京大学医学附属病院 こころの発達診療部）

S10-1 入院治療で起こり得る「性」をめぐる諸問題に対しどのように向き合いか

～管理的になりすぎず、治療的になるための工夫とは～

堀川 直希（医療法人コミュニテ風と虹 のぞへの丘病院）

S10-2 入院患者の性に関連したトラブルと取り組み

木戸口 和樹（医療法人翠星会 松田病院）

S10-3 単科精神病院思春期ユニットから病棟になり今日まで—問題行動への取り組み 16年間を振り返って—

東 妙（医医療法人横田会 向陽台病院）

S10-4 児童思春期病棟における「性」をめぐる諸問題について～現場の取り組みから～ 多摩あおば病院

に入院する子ども達の性にまつわる諸問題～開設3年目の児童思春期病棟の現状～

清野 聡子（医療法人社団新新会 多摩あおば病院）

指定討論：吉川 徹（愛知県尾張福祉相談センター）

11:00-12:00

特別講演 3

児童青年期の若者に認知行動療法を活用する

司会：越智紳一郎（愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学）

演者：大野 裕（認知行動療法研修開発センター）

12:10-13:10

共催セミナー 5 【大塚製薬株式会社メディカル・アフェアーズ部】

自傷・自殺行動と神経発達症特性にみられる関係の一つのとりえ

司会：三上 克央（東海大学医学部医学科総合診療学系精神科学）

演者：辻井 農亜（富山大学附属病院 こどものこころと発達診療学講座）

13:20-15:20

シンポジウム 11

自閉症という呼称でいいだろうか？

司会：市川 宏伸（日本自閉症協会）

S11-1 'Autism' は2つの意味をもつ多義語として訳し分けるべきである

本田 秀夫（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室）

S11-2 自閉症と言う呼称は本質を表しているだろうか？

市川 宏伸（日本自閉症協会）

S11-3 自閉症は自閉的か？

内山 登紀夫（福島学院大学 福祉心理学科）

S11-4 autism 概念の変遷：和訳の前に相互関係の中で考える

高岡 健（岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター）

15:20-15:30

閉会式

3日目 10月19日（土） B会場（1Fサブホール）

8:50-10:50

災害対策委員会セミナー

災害時における受援について－実際に災害が起きた時－

司会：大重 耕三（地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター）

司会：八木 淳子（岩手医科大学医学部神経精神科学講座／岩手医科大学附属病院児童精神科）

CS6-1 阪神・淡路大震災の経験から～受援という課題

田中 究（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）

CS6-2 東日本大震災時における受援

林 みづ穂（仙台市精神保健福祉総合センター）

CS6-3 熊本地震の経験から

田中 恭子（国立病院機構 菊池病院）

CS6-4 災害時における受援について－実際に災害が起きた時－令和6年能登半島地震の経験から

内藤 暢茂（社会福祉法人金沢市民生協会ときわ病院）

11:00-12:00

教育講演 5

摂食症（摂食障害）の子どもたち－学校との協力支援体制を含めて－

司会：堀内 史枝（愛媛大学大学院 医学系研究科 児童精神医学講座）

演者：高宮 静男（たかみやこころのクリニック）

13:20-15:20

日本摂食障害協会

養護教諭向けのゲートキーパー研修会

エキスパートコンセンサスによる摂食障害に関する「学校と医療のより良い連携のために対応指針」を活用した学校での対応について

司会：磯部 昌憲（京都大学医学部附属病院）

G-1 疾患概要

上月 遥（京都大学医学部附属病院 精神科神経科）

G-2 指針の解説

高宮 静男（たかみやこころのクリニック）

G-3 適応解説：小学校版：回避制限性摂取症

加地 啓子（私立学校養護教諭）

G-4 適応解説：中学校版：神経性やせ症

大波 由美絵（公立学校養護教諭）

3日目 10月19日（土）C会場（2F 真珠の間 A）

8:50-10:50

教育に関する委員会セミナー

いじめ等重大事態における第三者委員会の現状を考える（仮題）

司会：清田 晃生（社会福祉法人別府発達医療センター 大分療育センター）

司会：野邑 健二（名古屋大学心の発達支援研究実践センター）

CS7-1 第三者委員会における本学会会員のアンケート調査の報告

長倉 いのり（京都市児童福祉センター診療所）

CS7-2 被害者主観に偏りすぎた法律によって、学校は大混乱に陥っていて、子どもの成長も歪みつつある
～いじめの予防も発見も再発防止も完璧にできる超人教師はどこにもいない

小野田 正利（大阪大学）

CS7-3 いじめ調査第三者委員会の現状と課題

曾我 智史（尼崎駅前法律事務所）

CS7-4 いじめの重大事態の調査に関するガイドラインの改訂について

池田 真信（文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導調査官）

11:00-12:00

教育講演6

児童病棟の入院治療

司会：井上 彩織（愛媛大学医学部附属病院 精神科 / 愛媛大学医学部附属病院 子どものこころセンター）

演者：宇佐美 政英（国立国際医療研究センター 国府台病院児童精神科）

13:20-15:20

シンポジウム 12【全国児童青年精神科医療施設協議会（全児協）提案シンポジウム】

愛着トラウマをもつ子どもの入院治療

司会：神田 秀人（山形県立こころの医療センター）

司会：原田 謙（長野県立こころの医療センター駒ヶ根 副院長）

S12-1 不安定な愛着スタイルを抱える児が看護師とのかかわりを通して変化したこと

坪 綾子（茨城県立こころの医療センター）

S12-2 「つながり」をつくる～施設内不適応により入院となった男児の治療経過～

○岩垂 喜貴、畠山 求、笠原 麻里、早川 宜佑、岡野 恵里香、真地 寿
駒木野病院

S12-3 病棟から子どもが巣立つ日 不適切養育を受けて自殺企図した思春期女子に対する治療過程

尾崎 仁（兵庫県立ひょうごこころの医療センター）

S12-4 3歳児に解離する母を支え 希死念慮・醜形恐怖を訴え続けた不登校女兒の入院治療

～多職種チームでの関り～

○水本 有紀¹、三ツ廣 真利菜¹、原田 郁大^{2,3}、高橋 萌々香¹、宇佐美 政英¹

1. 国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科、

2. 福岡県久留米市西部障害者機関相談センター、3. 社会福祉法人拓く相談支援センターカリブ

3日目 10月19日（土） D会場（2F 真珠の間B）

8:50-10:50

国際学会連絡・国際交流基金運営委員会セミナー

Clinical practice and research on Neurodevelopmental Disorders in Asia

（アジアにおける神経発達症の臨床と研究）

司会：柿元 真知（三重県立子ども心身発達医療センター）

冒頭挨拶：中村 和彦（弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座）

Supporting developmental disabilities through regular health check ups at universities

奥山 純子（東京農工大 保健管理センター）

Effective Approaches to Treating Adolescent Trauma in Japanese Psychiatric Settings: A Case Series

石島 洋輔（医療法人成精会刈谷病院）

Identifying environmental causes of neurodevelopmental disorders : focus on exposome studies and environmental neuroscience

Johanna Inhyang Kim (Department of Psychiatry, Hanyang University College of Medicine, Seoul, Republic of Korea/Division of Children and Adolescent Psychiatry, Department of Psychiatry, Seoul National University Hospital, Seoul, the Republic of Korea)

総合討論 司会：高橋 長秀（国立精神医療研究センター 知的発達研究部）

コメンテーター：金生 由紀子（東京大学大学院医学研究科脳神経医学専攻統合脳医学講座 こころの発達医学分野）

コメンテーター：Kim Bung-Nyun (Department of Child & Adolescent Psychiatry, Seoul National University, College of Medicine and SNU Hospital)

閉会挨拶：小野 善郎（おのクリニック）

11:00-12:00

教育講演7

「子どもの権利」－弁護士として現実を直視する－

司会：河邊 憲太郎（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座）

演者：射場 和子（ひめはな法律事務所）

13:20-15:20

福祉に関する委員会セミナー

性被害・性加害から子どもたちを守るために、私たちが出来ることを考えよう

司会：小平 雅基（総合母子保健センター愛育クリニック）

司会：上野 千穂（京都市児童福祉センター診療所）

CS8-1 性被害トラウマが子どもに与える影響

飛鳥井 望（特定医療法人社団青山会青木病院 / 公益社団法人被害者支援都民センター）

CS8-2 児童思春期における性被害と性加害：境界線の発達と関係性の観点から

野坂 祐子（大阪大学大学院人間科学研究科）

CS8-3 性的虐待・性被害を受けた子ども達の裁判について―出廷を検討する際に配慮すべきこととは―

古田 洋子（埼玉県中央児童相談所）

CS8-4 性被害の長期的影響とジェンダー

宮地 尚子（一橋大学社会学部社会学研究科）

3日目 10月19日（土） E会場（3F 第6会議室）

8:50-10:50

症例検討5

「激しい行動化を繰り返す、発達特性を有する小学生男児の入院治療」

司会：中土井 芳弘（国立病院機構 四国こどもとおとなの医療センター）

スーパーバイザー：大石 聡（独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こども病院）

C5-5 激しい行動化を繰り返す、発達特性を有する小学生男児の入院治療

○酒匂 雄貴¹、高橋 萌々香³、板垣 琴瑛²、山本 啓太³、箱島 有輝¹、稲崎 久美¹、水本 有紀¹、宇佐美 政英¹

1. 国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科、
2. 国立国際医療研究センター国府台病院 心理指導室、
3. 国立国際医療研究センター国府台病院 ソーシャルワーク室

11:00-12:00

一般口演 23

リエゾン・治療連携

司会：永野 志歩（高知県・高知市病院企業団立 高知医療センター / こころのサポートセンター児童精神科）

O23-1 Children with special health care needs (CSHCN) へ向けたリエゾン診療の取り組み

○小林 まどか、田中 恭子
国立成育医療研究センター こころの診療科

O23-2 児童思春期精神医療における多職種の活用を推進するための研修に関する調査

○水本 有紀、宇佐美 政英
国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科

O23-3 小児がん診療における心理社会的支援体制の課題

～トラウマインフォームドアプローチから臨床域のケースまで～
○田中 恭子、小林 まどか
国立研究開発法人国立成育医療研究センター こころの診療科

O23-4 長野県立こども病院こころの診療科におけるコンサルテーションおよびリエゾン活動の現状報告
～アンケート調査もふまえて

○藤井 義之、山田 慎二
長野県立こども病院こころの診療科

13:20-14:20

一般口演 26

地域連携

司会：赤間 史明（東海大学医学部総合診療学系精神科学）

O26-1 福岡県における神経発達症の地域支援の現状と課題－発達障がい者拠点病院事業について－

○香月 大輔、高田 加奈子、松本 美菜子、山根 謙一、山下 洋

九州大学病院 子どものこころ診療部

O26-2 TAIYO Project 2024 －小児科・精神科・児童精神科の地域医療連携推進計画－

○佐々木 剛¹、山崎 史暁¹、村山 綾香¹、小池 友紀¹、早津 龍之介¹、林 瑤子¹、篠田 菜々¹、阿久津 実彩¹、川口 恭央¹、橘 真澄²、高橋 純平³、久能 勝⁴、倉田 勉^{1,5}、石川 真紀⁶、細田 豊⁷、中里 道子⁸、磯野 友厚⁹、青木 勉⁹、安藤 咲穂¹⁰、篠田 直之³、志津 雄一郎¹¹

1. 千葉大学医学部附属病院 こどものこころ診療部・精神神経科、
2. 千葉大学 総合安全衛生管理機構、
3. 千葉市立青葉病院 児童精神科、
4. 千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター、
5. 袖ヶ浦さつき台病院 精神科、
6. 千葉県こころセンター、
7. 同仁会 木更津病院、
8. 国際医療福祉大学成田病院 精神科、
9. 総合病院 国保旭中央病院 神経精神科、
10. 千葉県こども病院 精神科、
11. 医療法人双和会 志津クリニック

O26-3 児童精神科領域における学校と医療機関との連携の現状と課題

○山田 晶子¹、上月 遥²、森本 佳奈¹、佐々木 彩恵子³、砂田 桃¹、井上 彩織⁴、河邊 憲太郎⁵、堀内 史枝⁵、磯部 昌憲²、村井 俊哉²

1. 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座、
2. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、
3. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学講座、
4. 愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座、
5. 愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座

O26-4 神経発達症児の支援に関する医療学校連携と教員のストレスについて

○森本 佳奈³、上月 遥¹、山田 晶子³、佐々木 彩恵子²、砂田 桃³、井上 彩織⁴、河邊 憲太郎⁴、堀内 史枝⁴、磯部 昌憲¹、村井 俊哉¹

1. 京都大学大学院医学部附属病院 精神科神経科、
2. 京都大学大学院医学研究科 発達小児科学、
3. 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座、
4. 愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座

14:20-15:20

一般口演 28

心理社会的援助・家族支援

司会：山田 敦朗（名古屋市立大学大学院医学研究科 こころの発達発達医学寄附講座）

O28-1 ハートランドしぎさんこどものこころ診療センターにおけるペアレント・トレーニングの効果検証

○久保 信代^{1,2}、太田 あかね¹、秦 香苗¹、岡崎 康輔¹、河野 いずみ¹、根来 秀樹¹

1. 一般財団法人信貴山病院ハートランドしぎさん こどものこころ診療センター、
2. 関西福祉科学大学 心理科学部

O28-2 訪問型ペアレント・トレーニング（セーフ・ケア）に対する訪問員の認識について

近藤 強

チヨダクリニック 精神科、心療内科、児童精神科

O28-3 自閉スペクトラム症傾向のある場面緘黙児に対する心理社会的アプローチを用いた治療の一例

○神谷 俊介¹、中島 康輔²、鈴木 龍太郎²、小野 剛^{1,3}、吉村 有希¹、稲田 健^{1,2}

1. 北里大学医学部精神科学、2. 北里大学医学部精神科学地域児童精神科医療学、
3. 東日本少年矯正医療・教育センター

O28-4 ASD リスクを持つ幼児に「デジタルおもちゃ」にて遠隔早期療育を試みた一例

太田 英伸^{1,2,3}

1. 秋田大学大学院 医学系研究科 作業療法学講座、2. 静和会 浅井病院 浅井病院研究所、
3. 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部

3日目 10月19日（土） F会場（3F 第5・7会議室）

8:50- 9:50

一般口演 19

入院治療①

司会：廣内 千晶（横浜市立大学附属市民総合医療センター精神医療センター）

O19-1 児童思春期病棟立ち上げからの変遷 ～『優しさ』の循環～

○萩尾 聖彦、飯星 貴宏、川野 豊、堀川 智史

のぞえ総合心療病院

O19-2 院内学級開設6年を振り返ってー持続可能なつながりづくりー

○山川 あゆ美、杉本 千佳子、植村 照子、比江島 誠人、横田 周三

医療法人横田会 向陽台病院

O19-3 3回（計757日）の任意入院を経て、徐々に自宅外の世界とのつながりを意識するようになった自閉スペクトラム症の女子の一例

○川久保 綾香、吉井 亜希子、持田 藍、根路銘 要太、中川 吉丈、遠藤 季哉

東京さつきホスピタル

O19-4 小児期逆境体験を経験した患者に対する当院の関りについて

～病棟内機能分化における観察室・PICUの機能～

○豊福 宏行、山口 洋介、堀川 直希

のぞえの丘病院

9:50-10:50

一般口演 21

入院治療②

司会：大西 雄一（東海大学医学部総合診療学系精神科学）

O21-1 地域連携が必要な児童思春期患者の入院に対する単科精神科病院の取り組み

○越智 麻里奈¹、細田 欣也¹、山本 泰士¹、山下 春菜¹、河邊 憲太郎²、堀内 史枝^{1,2}

1. 医療法人 佑心會 堀江病院、2. 愛媛大学医学部附属病院 児童精神医学講座

O21-2 精神科疾患患児と関わる中で看護師が抱く陰性感情に対するアンガーマネジメントの現状

○黒川 誠矢、山崎 あゆみ、合田 萌、白井 澄、松木 喜与

四国こどもとおとなの医療センター

O21-3 小児科入院と精神科入院におけるこどものこころ－思春期女児入院症例から、より良い治療環境を考察する－

○村山 綾香、山崎 史暁、佐々木 剛

千葉大学医学部附属病院

11:00-12:00

一般口演 24

研究・質問紙

司会：金井 講治（大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター）

O24-1 神経発達症圏における自記式投影法検査利用の検討

－ Sentence Completion Test の総文字数からの考察－

○山田 真穂¹、長尾 海里³、磯部 昌憲²、義村 さや香^{2,4}、上床 輝久^{2,5}、上月 遥²、村井 俊哉²

1. 京都大学医学部附属病院臨床心理室、2. 京都大学医学部附属病院精神科神経科、

3. 京都文教・短期大学、4. 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、

5. 京都教育大学 保健管理センター

O24-2 注意欠如多動症評価スケール（ADHD-RS-5）の臨床的特徴 －従来版との比較検討を通じて－

○下村 遼太郎、白石 映里、南波 江太郎、館農 幸恵、館農 勝

特定医療法人さっぽろ悠心の郷ときわ病院

O24-3 身体症状を有する患者の診療における Autism-spectrum Quotient（AQ）の有用性についての検討

○才田 晴奈¹、上月 遥²、磯部 昌憲²、栗添 恵理³、長尾 海里³、戸瀬 景茉²、義村 さや香²、

上床 輝久²、村井 俊哉²

1. 京都大学医学部附属病院 発達小児科、2. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、

3. 京都大学医学部附属病院 臨床心理室

O24-4 日本語版 Parent Tic Questionnaire（PTQ）の作成及び妥当性の検討

○松田 なつみ^{1,2}、井上 建³、野中 舞子^{2,4}、佐々木 宏太²、金生 由紀子^{2,5}

1. 白百合女子大学人間総合学部、2. 東京大学医学部附属病院こころの発達診療部、

3. 獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター、4. 帝京大学文学部心理学科、

5. 東京大学医学系研究科こころの発達医学分野

13:20-14:20

一般口演 27

研究・調査

司会：河邊 憲太郎（愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座）

O27-1 小児注意欠如・多動症患者を対象としたデジタル治療用アプリSDT-001の第3相臨床試験に参加した当院症例の解析結果報告

○森 貴俊、野畑 宏之

心療内科新クリニック

O27-2 自閉スペクトラム症児の感覚特性と睡眠に関する全国調査

○清水 日智¹、大橋 愛子¹、川原 紘子¹、寺田 和憲³、岩永 竜一郎⁴、熊崎 博一^{1,2}

1. 長崎大学医学部 精神神経科学教室、
2. 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科医療科学専攻展開医療科学講座精神神経科学、
3. 岐阜大学 工学部 電気電子・情報工学科 情報コース、4. 長崎大学 生命医科学域

O27-3 猜疑心・敵意バイアスをターゲットとした青年期集団認知療法による内因性オキシトシンの変化

○梅原 英裕^{1,2}、武田 知也³、増田 太利志^{1,4}、松田 宙也¹、山田 直輝¹

1. 徳島大学病院 精神科神経科、2. 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 精神医学分野、
3. 人間環境大学 総合心理学部総合心理学科、
4. NHO 四国こどもとおとなの医療センター 児童精神科

O27-4 子どものインターネット使用に関する家庭でのルール設定の効果の検討：全国縦断研究

○須山 聡¹、西木 百合子^{2,3}、福屋 吉史⁴、荻野 和雄⁵、山脇 かおり⁶、小川 しおり⁷、石塚 一枝⁸

1. 北海道大学病院 子どものこころと発達センター、
2. 東京都立小児総合医療センター児童思春期精神科、
3. 東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻こころの発達医学、
4. 東邦大学医学部精神神経医学講座、5. 福井厚生病院 ストレスケア科、
6. 国立障害者リハビリテーションセンター病院 小児科・児童精神科、
7. 日本福祉大学 教育・心理学部、8. 成育医療研究センター研究所 社会医学研究部

14:20-15:05

一般口演 29

研究・統計

司会：西野 良（京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構）

O29-1 目領域注視時の皮膚伝導反応の大きさと社会的情報への注視の関連性

○藤岡 徹^{1,2,3}、小坂 浩隆^{2,3,4,5}

1. 福井大学教育学部、2. 連合小児発達学研究所、3. 福井大学病院子どものこころ診療部、
4. 福井大・精神医学、5. 福井大・子どものこころの発達研究センター

O29-2 片足立ち評価を通じた自閉スペクトラム症の定量的スクリーニングモデル開発

○川原 紘子¹、清水 日智¹、田添 健裕¹、寺田 和憲²、大本 正義³、熊崎 博一^{1,4}

1. 長崎大学病院精神神経科、2. 岐阜大学工学部、3. 静岡大学情報学部、
4. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

O29-3 自閉スペクトラム症における社会的カモフラージュと気分状態・ウェルビーイングとの関係

義村 さや香

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系 先端作業療法学講座

8:50-9:50

一般口演 20

ASD 早期支援

司会：箱島 有輝（国立国際医療研究センター 国府台病院）

O20-1 TEACCH Autism Program における早期療育について

諏訪 利明

川崎医療福祉大学

O20-2 自閉スペクトラム症への超早期介入 Early Start Denver Model (ESDM) の効果について 第一報

○館農 幸恵¹、下村 遼太郎¹、白石 映里¹、南波 江太郎¹、館農 勝¹、山本 彩³、安達 潤²

1. ときわこども発達センター、2. 北海道大学教育心理学分野臨床心理学講座、
3. 札幌学院大学心理学部臨床心理学科

O20-3 クリニックでのエビデンスのある自閉スペクトラム症の超早期介入への取り組み

○井上 悠里¹、中島 洋子¹、串田 吉生¹、赤穂 千尋¹、平 理英子^{1,2}、寺嶋 舞¹

1. 医療法人豊仁会 まな星クリニック、2. 福山市発達支援センター

O20-4 自閉スペクトラム症幼児への早期支援法 JASPER の日本における効果の予備的検証

○黒田 美保¹、浜田 恵³、稲田 尚子²、辻井 正次³

1. 田園調布学園大学、2. 大正大学、3. 中京大学

9:50-10:50

一般口演 22

治療報告・ASD

司会：館農 勝（ときわ病院）

O22-1 強迫症状を呈した自閉スペクトラム症の小学生男児の入院治療経過

○馬 敏宰、板垣 琴瑛、山本 啓太、箱島 有輝、稲崎 久美、水本 有紀、宇佐美 政英
国立国際医療研究センター国府台病院

O22-2 多職種連携によるトークン・エコノミー法により、情動の安定がはかれた自閉スペクトラム症の1例

○光井 瞳、原田 健一郎、山科 貴裕、藤井 優子、佐藤 裕子、中川 伸
山口大学医学部附属病院 精神科神経科

O22-3 18歳から関わっている注意欠如多動症 (ADHD) / 自閉スペクトラム症 (ASD) の20歳女性。発達障害特性や環境不適合から生じた様々な症状と破壊的な自傷行為への対応方法について。

間嶋 崇宏

こころの医療センター五色台

11:00-12:00

一般口演 25

本人支援・ASD

司会：田中 容子（府中刑務所）

O25-1 自閉スペクトラムのある女の子の「こころとからだ」プログラムの実践

砂川 芽吹

お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系

O25-2 自閉スペクトラム症児の運動プログラム実践による行動特性への影響

○村上 友香理¹、谷田 航基²、棟近 孝之³

1. 関西医科大学 健康科学、2. AKIDS ラボ、3. 医療法人和合会 和合病院

O25-3 自閉症スペクトラム症の大学生への心理介入における日常生活に即した支援の意義

○長尾 海里¹、栗添 恵理³、上月 遥²、磯部 昌憲²、上床 輝久⁴、稲葉 啓通²、米田 拓也⁵、

村井 俊哉²

1. 京都文教・短期大学、2. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科、

3. 京都大学医学部附属病院 臨床心理室、4. 京都教育大学 保健管理センター、

5. 京都大学医学部附属病院 精神科相談室

O25-4 子どもの逸脱行動の背景に想定される精神病理；若年パーティ症候群（仮称）の集団力動について

吉岡 眞吾

愛知県精神医療センター

13:20-15:20

日本児童青年精神科診療所連絡協議会

3日目 10月19日（土）ポスター会場（1F 県民プラザ内）

8:50-9:50

ポスター 16

地域連携

司会：宮脇 大（大阪市立総合医療センター 児童青年精神科）

P16-1 地理的制約のあるへき地での児童精神科医療の取り組み

伊藤 滋朗^{1,2,3}

1. JR 東京総合病院、2. 日本医科大学精神医学教室、3. 徳島大学医学部公衆衛生学教室

P16-2 医療・教育の連携が神経発達症児および保護者に与える影響の検討

○井上 彩織¹、河邊 憲太郎²、松本 優¹、楠 麻耶¹、曾我 純也¹、山田 晶子³、森本 佳奈³、磯部 昌憲⁴、

上月 遥⁴、堀内 史枝²、上野 修一¹

1. 愛媛大学大学院医学系研究科 精神神経科学講座、

2. 愛媛大学大学院医学系研究科 児童精神医学講座、

3. 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座、4. 京都大学医学部附属病院 精神科神経科

P16-3 児童青年期のトラウマケアに係る岡山県での多機関連携の取組に関する実証研究的検討

○関 英一^{3,4}、来住 由樹²、壺内 昌子^{1,2}、大重 耕三²、古田 大地²、齊藤 慧²、福田 理尋²、

高橋 友香⁵、井上 悠里⁶、武井 祐子⁷

1. 岡山市こども総合相談所、2. 岡山県精神科医療センター、

3. 国立精神・神経医療研究センター、4. 社会医療法人あさかホスピタル、

5. なのはなクリニック、6. まな星クリニック、7. 川崎医療福祉大学

P16-4 児童思春期に特化した訪問看護の実施報告

○西本 佳世子¹、磯野 拓也^{2,4}、出山 義洋^{3,4}

1. 医療法人 鳳紀会 可知病院、2. 訪問看護ステーション Mill、3. NPO 法人ばちまる、

4. 訪問看護ステーションミルまる

8:50-9:50

ポスター 17

心理治療

司会：義村 さや香（京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系 先端作業療法学講座）

P17-1 児童・思春期の自閉スペクトラム症者および家族に対する認知行動療法を用いた心理教育プログラム「ASDに気づいてケアするプログラム」による特性への自己理解とメンタルヘルスに関する予後調査

川口 恭央

千葉大学医学部附属病院

P17-2 青年期女性自閉スペクトラム症の自助グループ活動の8年間の実践報告
ー主体的活動を通じた新たな「模索」の段階へ

○田中 亜矢巳¹、岩男 美美²、飯田 潤子³、豊丹生 啓子³、藤井 寛子⁴、木谷 秀勝¹

1. 山口大学、2. 中村学園大学、3. なかにわメンタルクリニック、4. かねはら小児科

P17-3 傷ついた子どものこころの回復を促す治療空間を創造する試み

～D.W. ウィニコットの可能性空間における“play”に着目したグループセラピー

○嶋田 一樹¹、大石 聡²、伊藤 一之²、渥美 委規²、八木 敦子²、氏家 紘平²、水島 みゆき¹

1. 静岡県立こども病院 心理療法室、2. 静岡県立こども病院 こころの診療部

P17-4 自傷が激しい被虐待体験をもつ20代女性患者に対する心理療法

ー気持ちの流れを言葉でつかむフローチャートに至るまでー

○白井 聖子¹、武井 庸郎²

1. 医療法人 山水会 香椎療養所、2. 医療法人 風のすずらん会 メンタルクリニック あいりす

8:50-9:35

ポスター 18

調査研究①

司会：幅田 加以瑛（福井大学医学部附属病院 神経科精神科）

P18-1 児童精神科病棟を退院した児童の予後調査

○岩垂 喜貴、吉田 奈緒美、笠原 麻里、清水 圭祐、早川 宜佑

駒木野病院

P18-2 自閉スペクトラム症を有する5歳児におけるフリン効果

○坂本 由唯¹、斉藤 まなぶ²、照井 藍¹、大里 絢子²、中村 和彦¹

1. 弘前大学大学院 医学研究科 神経精神医学講座、2. 弘前大学医学部心理支援学科

P18-3 初診時に向精神薬の薬剤調整を必要とした児童精神科患者の臨床的特徴について

ー単施設症例対照研究ー

○銭本 竜太郎¹、佐々木 祥乃^{1,2}、稲崎 久美²、箱島 有輝²、水本 有紀²、板垣 琴瑛²、山本 啓太²、宇佐美 政英²、辻井 農亜³、三上 克央⁴、高橋 英彦¹

1. 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医学分野、

2. 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科、

3. 富山大学医学部附属病院 こどものこころと発達診療学、

4. 東海大学医学部 総合診療学系精神科学

9:50-10:50

ポスター 19

多職種連携

司会：吉村 裕太（福岡大学医学部精神医学教室）

P19-1 児童精神科診療所における多職種の業務の実態について

○奥野 正景^{1,2}、村嶋 隼人^{1,2}、宇佐美 政英³、原田 謙⁴、大重 耕三⁵、板垣 琴瑛³、山本 啓太³

1. 医療法人サヂカム会 三国丘病院、
2. 医療法人サヂカム会 三国丘こころのクリニック、
3. 国立国際医療研究センター 国府台病院、
4. 長野県立こころの医療センター駒ヶ根、
5. 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター

P19-2 児童・思春期精神科入院治療における多職種の診療実態調査

○原田 謙¹、板垣 琴瑛²、大重 耕三³、奥野 正景⁴、山本 啓太²、宇佐美 政英²

1. 長野県立こころの医療センター、
2. 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院、
3. 地方独立行政法人 岡山県精神科医療センター、
4. 三国丘病院 三国丘こころのクリニック

P19-3 短期児童思春期精神科入院治療チームで心理士はどのように機能しているのか？

○根本 泰明、塚原 さち子、島内 智子、安藤 久美子、小野 和哉

聖マリアンナ医科大学 神経精神科

P19-4 児童・思春期における精神保健福祉士の役割と課題についての考察

○澤井 創、吉田 茉美、西村 美穂、岡崎 康輔、河野 いずみ、根来 秀樹

一般財団法人 信貴山病院 ハートランドしぎさん

9:50-10:50

ポスター 20

診療まとめ

司会：木戸 瑞江（香川大学医学部精神神経医学講座）

P20-1 起立性調節障害について－当院における診療のまとめ－

大橋 浩

国立病院機構 三重病院小児心療科

P20-2 知的障害のない自閉スペクトラム症青年の経済的自立～幼児期から20代までの長期追跡47例～

○大月 純¹、岩佐 光章²、清水 康夫¹、大園 啓子^{1,9}、今井 美保⁶、土岐 篤史⁷、原 郁子⁸、篠山 大明^{3,4,5}、本田 秀夫^{3,4}

1. 横浜市総合リハビリテーションセンター、
2. 横浜市西部地域療育センター、
3. 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室、
4. 信州大学医学部附属病院子どものこころ診療部、
5. 信州大学医学部精神医学教室、
6. 横浜市戸塚地域療育センター、
7. 横浜市北部地域療育センター、
8. こころ発達クリニック新横浜、
9. 東海大学医学部総合診療学系精神科学

P20-3 一医療機関における未成年者過量服薬の現状

○渡邊 恵里、杉本 流、川谷 大治

川谷医院

P20-4 発達障害患者の併存症とその対処についての一考察

○本田 教一、菅野 智美、宇佐神 里美、西山 飛鳥

松村総合病院附属舞子浜病院 精神神経科

9:50-10:50

ポスター 21

調査研究②

司会：山家 健仁（岩手医科大学医学部神経精神科学講座）

P21-1 自閉スペクトラム症と注意欠如・多動症を区別する遺伝要因が統合失調症の認知機能と脳構造に及ぼす影響

○蔵満 彩結実、大井 一高、塩入 俊樹

岐阜大学医学部附属病院精神科

P21-2 令和6年能登半島地震に伴う子どもたちのケアに携わる支援者へのアンケート調査

○平岩 明子^{1,2}、高崎 麻美²、五十嵐 知子^{3,4}、金子 直史³、小林 春子³、上野 摩耶³、辻井 農亜¹

1. 富山大学医学部こどものこころと発達診療学講座、
2. 富山大学学術研究部医学系小児科、
3. 富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、
4. 富山県立中央病院精神科

P21-3 子どもの精神病リスク早期スクリーニング・システム Child Psychosis-risk Screening System (CPSS) を小児科臨床に役立てる

○濱崎 由紀子^{1,2}、阪上 由子³、上羽 智子⁴、松尾 雅博⁵

1. 京都女子大学現代社会学部、
2. 医療法人藤樹会滋賀里病院、
3. 滋賀医科大学医学部小児科学講座、
4. 済生会守山市民病院小児科、
5. 滋賀医科大学医学部精神医学講座

P21-4 閾値下躁症状を有する児の調査と感覚処理障害との関連

○濱 宏樹¹、宮脇 大^{1,2}、後藤 彩子¹、平井 香¹、角野 信¹、西浦 沙耶花¹、柿下 優衣³、井上 幸紀¹

1. 大阪市立大学医学研究科神経精神医学、
2. 大阪市立総合医療センター児童青年精神科、
3. 大阪公立大学大学院医学研究科小児発達医学

11:00-12:00

ポスター 22

不登校

司会：松浦 広樹（天理よろづ相談所病院白川分院 精神神経科）

P22-1 不登校となった思春期女兒との児童精神科外来における心理面接過程

○吉田 雪乃、板垣 琴絵¹、箱島 有輝²、稲崎 久美²、水本 有紀²、宇佐美 政英²

1. 国立国際医療研究センター国府台病院心理指導室、
2. 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科

P22-2 コロナ禍における不登校の原因と予後に関連する因子についての後方視的検討～続報～

○佐藤 亜希子¹、千代田 高明¹、松本 貴智¹、川崎 由希子¹、和田 知紘¹、伊瀬 陽子²、國井 泰人^{1,3}、増子 博文^{1,2}、板垣 俊太郎¹

1. 福島県立医科大学神経精神医学講座、
2. 福島県総合療育センター、
3. 東北大学災害科学国際研究所災害精神医学分野

P22-3 地域密着型不登校予防支援施設を目指して

～様々な角度から医療的専門性を活かした不登校支援アプローチ～

出山 義洋

NPO 法人ぼちまる

P22-4 保護者の感じる不登校のきっかけ —自由記述の分析を通して—

○平田 郁絵^{1,3}、西村 倫子^{1,2,3}、大須賀 優子^{1,2}、津久井 伸明^{1,2,3}、和久田 学^{1,2}

1. 浜松医科大学子どものこころの発達研究センター、
2. 公益社団法人子どもの発達科学研究所、
3. 大阪大学大学院連合小児発達学研究所

11:00-12:00

ポスター 23

トピック

司会：関 正樹（大湫病院）

P23-1 ヤングケアラーの家族への情緒ケア負荷が成人移行期の抑うつ症状に与える影響

小野 美樹¹、佐藤 みのり²、松崎 裕香^{1・3}、井上 猛¹

1. 東京医科大学精神医学分野、2. お茶の水女子大学教学 IR・教育開発・学修支援センター、
3. 柏崎厚生病院

P23-2 ヤングケアラー支援において支援者が感じる困難感

～支援機関別の困難感から支援体制構築の課題についての考察～

○土田 幸子¹、牛場 裕治²

1. 鈴鹿医療科学大学看護学部、2. 福井県立大学看護福祉学部

P23-3 トランスジェンダー女性に対するスティグマから考える支援

○松原 愛¹、武田 俊信²

1. 龍谷大学大学院文学研究科臨床心理学専攻、2. 龍谷大学心理学部

P23-4 ポストコロナにおける青年の自殺念慮・企図の有症率と関連要因

○村上 智生¹、足立 匡基²

1. 明治学院大学心理学部（調査時）、2. 明治学院大学心理学部

11:00-12:00

ポスター 24

薬物治療

司会：中川 伸（山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座）

P24-1 カルバマゼピンが著効した月経精神病の1例

○森崎 敦夫、海老島 健、明石 倫子、長沢 崇

東京都立小児総合医療センター

P24-2 奈良県立医科大学精神科児童思春期外来における自閉スペクトラム症に対する抗精神病薬の使用状況について

○川西 悠加¹、水井 亮¹、生野 兼広¹、赤木 優月²、吉原 尊浩³、衛藤 弓真²、浅野 雅稔⁴、土居 史磨⁵、前田 祐里⁶、神川 浩平⁷、石岡 希望²、濱野 泰光¹、岡崎 康輔⁸、後藤 晴栄⁷、山室 和彦¹、浦谷 光裕⁶、太田 豊作⁹、岡田 俊¹

1. 奈良県立医科大学 精神医学講座、2. 奈良県総合リハビリテーションセンター 精神科、
3. 東大阪市立障害児者支援センター、4. 飛鳥病院 精神科、5. 垂水病院 精神科、
6. 万葉クリニック 子どものこころセンター絆、7. 奈良県総合医療センター 精神科、
8. ハートランドしぎさん こどものこころ診療センター、9. 奈良県立医科大学 人間発達学

P24-3 lisdexamfetamine dimesylate 内服例の長期経過

○島川 修一¹、福井 美保^{1・2}、居相 有紀¹

1. 大阪医科薬科大学病院小児科、2. 大阪大谷大学教育学部

P24-4 フルボキサミン服薬が効果的であった神経性やせ症と自閉スペクトラム症の併存する女児症例

○濱野 泰光³、太田 豊作²、角南 有香³、赤木 優月⁴、吉原 尊浩⁵、生野 兼広³、杉山 龍¹、神川 浩平¹、疇地 崇広¹、岡田 俊³

1. 奈良県総合医療センター 精神科、2. 奈良県立医科大学 人間発達学、
3. 奈良県立医科大学 精神医学講座、4. 奈良県総合リハビリテーションセンター 精神科、
5. 東大阪市立障害児者支援センター